



福山平成大学 開学30周年記念式典



この度、本学が開学30周年を迎えたことを記念して、2025年2月16日(日)に、14号館学生会館(日新館)において、開学30周年記念式典が挙行されました。来賓の方々をはじめ、一般招待者及び教職員、学生550名余りが出席しました。

式典終了後、記念講演として、東京大学名誉教授・神奈川大学特別招聘教授 岩井克人先生による講演、続いて、喜多流大島能楽堂 大島衣恵氏による能楽公演を行いました。また、司会として渕上沙紀RCC中国放送アナウンサーにより式典が進行され、記念式典、記念講演、能楽公演が無事終了いたしました。

30周年を新たな出発点として、更なる発展に向けて日々搖ぎなく前進し続けたいと考えております。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。





福祉学科

学長杯争奪競技大会

令和7年5月15日(木)に学長杯争奪競技大会が開催されました。昨年、福祉学科はソフトボールの部において優勝しました。今年は、ティフエンティングチャンピオンとして2連覇を達成すべく臨みました。また、ソフトバレー、ボールでも上位入賞を目指しました。しかし、選手をはじめ応援した学生、教員、全員で参加し力を出し切った良い試合でした。次年度は新たに挑戦者として優勝を目指すことを誓いました。

助教 松本 未信

看護学科

ようこそ先輩 ～卒業生から後輩に伝えたい看護のこころ～



看護学科では、課題探求学習のひとつとして、2年生で「基礎ゼミII」を開講しています。本科目のなかの「キャリア形成の明確化」では、看護師、助産師、保健師、養護教諭として、それぞれの場で活躍している卒業生から「仕事を通して後輩に望むこと」と題して講話をしていただいています。終了後には直接、卒業生への質問や意見交換がカジュアルに行われており、ホームカミングデイの一環として、卒業生との繋がりの強化になることも期待しています。今年は、島根県をはじめ中国地域から4名の卒業生に参加をしていただきました。

学生は、先輩から日々の活動内容や仕事に取り組む姿勢、学生時代から努力してきたことなど、仕事を通じて得た経験やスキルの蓄積と自己実現を追求するプロセスを聞くことで、自分の将来をイメージしながら現実味を持つてキャリアを考える機会となっていました。また、卒業後も更に成長することを目指し自己研鑽に努める能動的な姿勢は、今後、控える臨地実習や2年後の看護師国家試験・保健師国家試験・教員採用試験といった資格取得に向けた各自のモチベーションを高めることに繋がりました。キャリア形成に向けて「なりたい自分」を目指し、学生生活を頑張る皆さんをこれからもしっかりとサポートしていくことを考えていました。

教授 内田 史江

経営学科

経営講演会・地域企業人材マネジメント研究会

経営学部経営学科では、備後地域を中心とした諸機関との産学官連携を通じた地域貢献と融合したアクティブラーニングに積極的に取り組んでいます。今回は、二つの取組みを紹介します。一つは、昨年12月に開催された経営講演会です。福山平成大学経営学部びんご経営リサークセンター主催、公益財団法人ひるしま産業振興機構後援、福山市協力によるこの講演会では、公益財団法人ひるしま産業振興機構福山支所長の鳥越直樹氏をお迎えし、第一部で「備後の『ものづくり』の歩み」と題するご講演、第二部で、小川長経営学部長との対談を通じて、「備後のものづくり・ひとづくり」を語っていただきました。社会人の方々をはじめ、およそ80人が参加したこの講演会では、本学科の学生の皆さんも参加し、聴講するだけでなく、会場スタッフとしてもサポートしてくれました。イベントの裏方でも体験することで、来場者の対応や挨拶など、社会人基礎力を身につけることができました。

もう一つは、福山平成大学経営学部びんご経営リサーチセンター・福山地方雇用対策協議会・福山商工会議所及び福山市の共催による研究会です。備後地域における組織の人材マネジメントの課題解決を目指した「地域企業人材マネジメント研究会」は昨年度、4回にわたり開催されました。本学科の学生の皆さんも、会場スタッフとしてサポートしてくれただけでなく、参加された地元の経営者や役員、ミドルマネジャーなど企業関係者や高度専門家と一緒に、備後地域において、人を大切にする組織が一つでも多く増える方策を考えてくれました。

准教授 児子 正治

Topics 学科トピックス

健康スポーツ科学科 新入生オリエンテーションを振り返って

健康スポーツ科学科では例年通り、4月に一泊二日の新入生オリエンテーション合宿が実施されました。2～4年生の学生リーダーが春休みの時間を使って企画を練り上げ、運営を行ってくださいました。1日目は各ゼミや全体でアイスブレイクを行われ、はじめて出会った人との仲を深めたり、集団行動について学んだりしました。2日目にはゼミ対抗でスポーツ雪合戦などの様々なスポーツクリエーションが行われ、みんなで協力する楽しさ、大きさを改めて学びました。

私は、入学したばかりでとても緊張しながら合宿に参加しましたが、優しく接してくれた学生リーダーの先輩方や先生方のおかげでたくさんの人と関わることができ、仲間を増やし、合宿のテーマである「絆」を深めることができました。この経験で得たものを大切にこれから大学生生活に活かしていきたいです。

1年 大橋 美佑



こども学科

「キャンパスリポーター」が活躍しています！

本有珠さんは、4年生の牧田奈保実さんが「キャンパスリポーター」として活躍しています。中国新聞やウェブサイトに記事を投稿することができます。一人とも、中国新聞社で研修を受け学生記者として活動を始めました。



▲学食フェアのデジタル記事を見せる黒田さん

講師 佐伯 岳春

令和7年度 サークル活動記録

2025/6/2現在

男子バレーボール部

第101回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会	4/19～5/11	広島大学体育館 他
第69回中国四国学生バレーボール選手権大会	5/24～5/26	岡山大学第2体育館 他

優勝

優勝

女子バレーボール部

第69回中国四国学生バレーボール選手権大会	5/24～5/26	清水記念体育館 他
-----------------------	-----------	-----------

第3位

軟式野球部

第30回中国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦	優勝
3/26～5/10 福山市竹ヶ端運動公園野球場 他	
第5回全日本大学軟式野球選抜大会出場	

陸上競技部

第79回中国四国学生陸上競技対校選手権大会
5/9～5/11 ヤマタスポーツパーク
男子 1500m 第3位 橋本 怜弥(健スポ4)
女子 1500m 第1位 井上 菜名(健スポ1)
女子 棒高跳 第1位 森迫 菜羽(健スポ2)
優勝者は第94回日本学生陸上競技対校選手権大会に出場

ソフトテニス部

第47回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会
第69回中国学生ソフトテニス優勝大会
第27回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会

5/2～5/6 宇部中央公園テニスコート

男子団体 準優勝

女子団体 優勝

男子ダブルス 優勝 中川(経営3)・森(健スポ2)

女子ダブルス 優勝 柴田(健スポ4)・東脇(経営3)

男子シングルス 優勝 山根(健スポ4)

女子シングルス 優勝 正岡(こども1)

全日本大学ソフトテニス王座決定戦に出場

学長杯争奪競技大会報告

5月15日に学長杯争奪競技大会が開催されました。

ソフトボール9チーム、ソフトバレー8チームの約250名の参加者があり学生・教職員の熱き戦いが繰り広げられました。

競技の結果

ソフトボール 優勝 看護学科A
準優勝 福祉学科A

ソフトバレー 優勝 こども学科A
準優勝 こども学科B



令和7年度 マナー向上キャンペーン実施

令和7年5月22日にキャンパスマナー向上を図り、学友会・学科・サークルの学生及び教職員の総勢80人が協力し学内美化に努めました。





令和7年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)採択一覧

所 属	職 名	氏 名	研 究 種 目	研 究 課 題 名	研 究 期 間	付 交 金 額
経営学部	教 授	堀越 昌和	基盤研究(C)	中小企業における女性後継者の承継後企業パフォーマンスの決定要因に関する研究	令和5年度～令和7年度	4,550,000円
経営学部	教 授	市瀬 信子	基盤研究(C)	清代前半期の杭州詩壇を基盤として見る袁枚の文学活動とその詩觀に関する研究	令和6年度～令和8年度	3,380,000円
経営学部	准教授	兒子 正治	若手研究	ベトナム、インドネシア、タイ(ASEAN地域)、日本のZ世代IT人材の労働価値観分析	令和7年度～令和10年度	4,810,000円
経営学部	講 師	宗像 智仁	若手研究	逆機能的行動に対する組織成員の動機づけの影響に関する研究	令和7年度～令和9年度	4,550,000円
福祉健康学部	講 師	下田 旭美	基盤研究(C)	海外展開する高専教育モデルの学修成果に関する研究－タイの事例を中心に－	令和7年度～令和10年度	4,680,000円
福祉健康学部	講 師	石田 咲子	基盤研究(C)	「息の長い」支援に向けた満期釈放者に対する再犯防止施策の検討	令和5年度～令和7年度	1,950,000円
福祉健康学部	教 授	田中 宏和	基盤研究(C)	学校現場における児童・生徒が有する著作権の保護の在り方	令和6年度～令和9年度	2,340,000円
福祉健康学部	講 師	峯田晋史郎	若手研究	身体接触及び認知負荷を伴う動作中の内がえし捻挫受傷予防トレーニングの開発	令和3年度～令和7年度	4,680,000円
看護学部	教 授	内田 史江	基盤研究(C)	在宅がん患者の看取りを支える「家族コミットメント」アセスメントツールの開発	令和4年度～令和7年度	1,040,000円
看護学部	准教授	松本 陽子	若手研究	精神科看護師が抱く陰性感情と視点取得的関わりモデルの構築	令和4年度～令和7年度	2,080,000円
看護学部	准教授	中川名帆子	基盤研究(C)	新任教員の看護学実習指導能力育成に向けた教育プログラム提供アプリケーションの開発	令和7年度～令和10年度	4,290,000円

令和7年度 福山平成大学公開講座

■ テーマ 未来を育む・支える・創り出す－これからの社会を考える－

■ 日 時 全5回(8月28日・9月4日・11日・18日・25日)
18:30～20:00

■ 会 場 福山平成大学 7号館大講義室

■ 受講対象者及び定員 一般市民 250名

■ 受講料 無料

■ 問い合わせ先 庶務課

第1回 8月28日	これからの「教育」の方向性を考える:最新の政策動向を中心に	こども学科 黒木 貴人 准教授
第2回 9月 4日	元気な今だから考えたい!これからの暮らしと医療～人生会議(ACP)の進め方～	福祉学科 奥田 亜矢 准教授
第3回 9月11日	レジリエンス(精神的回復力)を育む－子どもの健康問題から考える－	健康スポーツ科学科 近藤 千穂 講師
第4回 9月18日	地域包括ケアとこれから～地域共生社会の実現に向けて～	看護学科 荒井 葉子 教授
第5回 9月25日	学習リソースの1つとしての生成AI－学び続けるためのイマドキの手法?－	経営学科 松葉 龍一 教授

令和6年度 学校法人福山大学財務状況

貸借対照表

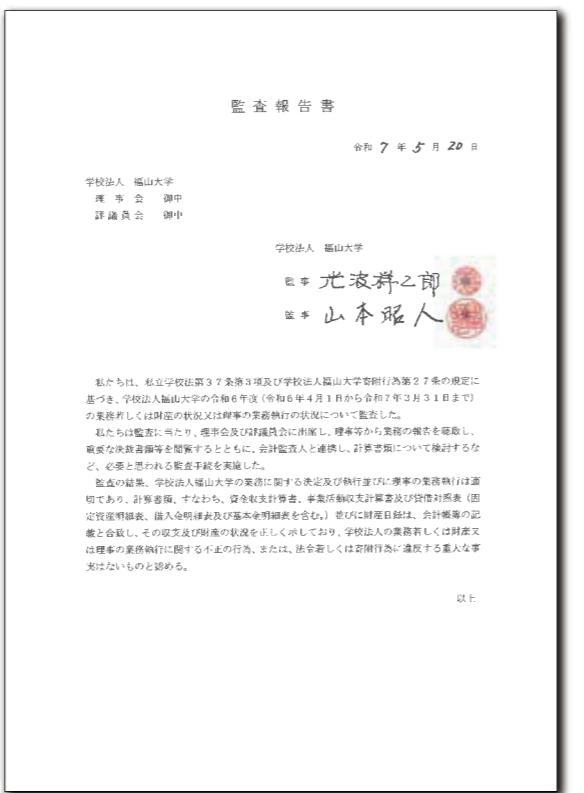
(令和7年3月31日) (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	55,588,815,800	固定負債	1,860,391,555
有形固定資産	31,842,306,520	長期借入金	72,750,000
土地	6,905,160,619	退職給与引当金	1,642,027,552
建物	16,428,119,006	長期未払金	145,614,003
構築物	754,848,582	流動負債	2,279,661,369
教育研究用機器備品	2,400,240,092	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	24,318,873	未払金	111,750,918
図書	4,965,672,662	前受金	1,988,436,200
車両	1,148,775	預り金	131,714,251
船舶	7,116,911	負債の部合計	4,140,052,924
建設仮勘定	355,681,000	純資産の部	
特定資産	23,709,923,584	科目	金額
第2号基本金引当特定資産	500,000,000	基本金	56,090,290,198
退職給与引当特定資産	1,642,027,552	第1号基本金	55,102,290,198
減価償却引当特定資産	14,706,671,791	第2号基本金	500,000,000
校舎建設等引当特定資産	3,425,757,976	第4号基本金	488,000,000
創設準備引当特定資産	3,435,466,265	繰越収支差額	111,198,343
その他の固定資産	36,585,696	翌年度繰越収支差額	111,198,343
電話加入権	3,048,426	純資産の部合計	56,201,488,541
施設利用権	600	負債及び純資産の部合計	60,341,541,465
保証金	33,316,670		
敷金	220,000		
流動資産	4,752,725,665		
現金預金	3,988,252,633		
未収入金	143,907,767		
有価証券	581,368,855		
前払金	38,990,824		
仮払金	205,586		
資産の部合計	60,341,541,465		

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	賃借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車輛等
特定資産	基金引き当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流动資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流动負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
本基金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本基金から第4号基本基金があります
第1号基本基金	教育活動を行うため取得した固定資産の価額
第2号基本基金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本基金	奖学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及び他の資産の額
第4号基本基金	恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣の定める額
継続収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度継続収支差額と一致します



財產目錄

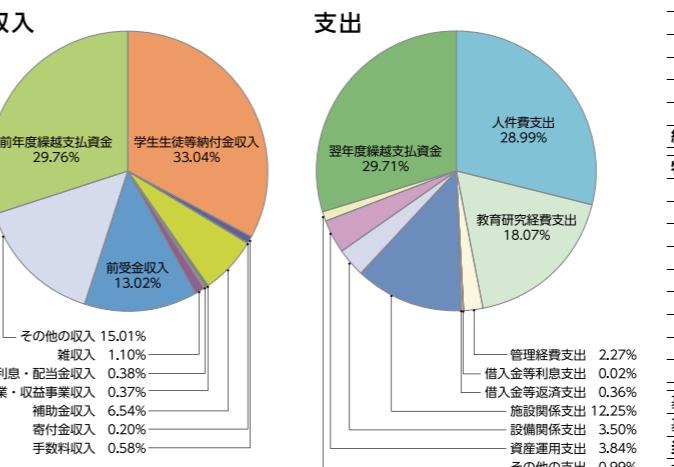
令和7年3月31日) (単位: 円)

一 資 產 額		
1. 基本財產		31,842,306,520
土地	339,096 m ²	6,905,160,619
建物	154,918 m ²	16,428,119,006
構築物		754,848,582
教育研究用機器備品	4,204 点	2,400,240,092
管理用機器備品	142 点	24,318,873
図書	459,366冊	4,965,672,662
車両	31 台	1,148,775
船舶	2 艇	7,116,911
建設仮勘定		355,681,000
2. 運用財產		28,499,234,945
現金預金		3,988,252,633
第2号基本金引当特定資産		500,000,000
退職給与引当特定資産		1,642,027,552
減価償却引当特定資産		14,706,671,791
校舎建設等引当特定資産		3,425,757,976
創設準備引当特定資産		3,435,466,265
電話加入権		3,048,426
施設利用権		600
保証金		33,316,670
敷金		220,000
未収入金		143,907,767
有価証券		581,368,855
前払金		38,990,824
仮払金		205,586
資産総額		60,341,541,465
二 負 債 額		
1. 固定負債		1,860,391,555
長期借入金		72,750,000
退職給与引当金		1,642,027,552
長期未払金		145,614,003
2. 流動負債		2,279,661,369
短期借入金		47,760,000
未払金		111,750,918
前受金		1,988,436,200
預り金		131,714,251
負債総額		4,140,052,924
正味財産(資産総額-負債総額)		56,201,488,541

金収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)(単位：円)

入の部		支出の部	
目	金額	科目	金額
生徒等納付金収入	5,045,163,300	人件費支出	3,892,381,806
料収入	88,123,267	教育研究経費支出	2,426,817,168
金収入	31,166,226	管理経費支出	304,814,711
金収入	998,640,284	借入金等利息支出	2,926,265
売却収入	0	借入金等返済支出	47,760,000
事業・収益事業収入	56,984,298	施設関係支出	1,644,024,400
利息・配当金収入	58,177,302	設備関係支出	469,211,579
入	167,405,776	資産運用支出	9,043,851,587
金等収入	0	その他の支出	2,618,376,789
金収入	1,988,436,200	資金支出調整勘定	△ 229,756,998
他の収入	13,306,253,690		
金収入調整勘定	△ 2,076,549,187		
年度繰越支払資金	4,544,858,784	翌年度繰越支払資金	3,988,252,633
の部合計	24,208,659,940	支出の部合計	24,208,659,940



上記のグラフは次のとおり調整しています。

① 資金収入・資金支出調整勘定を除外
② その他の収入・資産運用支出・その他の支出のうち、資産運用・預り金・仮払金に係るものは
③ と書き下すに相当

金收支計算書

金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究などの活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも会計におけるキャッシュ・フローとなっていませんが、別途「資金収支調整勘定」と「資金支出調整勘定」に対して、これら前受金等を調整することになり、経緯としてはキャッシュ・フローを示しています。

の説明 の部	
生徒等納付金収入	授業料、入学金、実験実習料等の収入
料収入	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
金収入	金銭及びその他の資産を購入者から贈与された収入
金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
事業・収益事業収入	補助活動、附属事業および収益事業による収入
利益・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
入	上記以外の収入で学校法人の負担とならない収入
金等収入	返済期限が貸賃対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したもの
他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目
の部	
費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出
経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
関係支出	土地・建物・構築物等の固定資産の取得に係る支出
関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
運用支出	各種特定資産への購入支出、有価証券の取得に係る支出
他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものには、翌年度以降になるもの

業活動收支計算書

和6年4月1日～令和7年3月31日)(単位：円)

	金額
活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,045,163,300
手数料	88,123,267
寄付金	31,166,226
経常費等補助金	967,713,284
付随事業収入	56,984,298
雜収入	167,425,097
教育活動収入計	6,356,575,472
事業活動支出の部	
人件費	3,908,038,017
教育研究経費	3,398,067,975
管理経費	358,101,030
徴収不能額等	0
教育活動支出計	7,664,207,022
教育活動収支差額	\triangle 1,307,631,550
活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	62,489,371
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	62,489,371
事業活動支出の部	
借入金等利息	2,926,265
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	2,926,265
教育活動外収支差額	59,563,106
収支差額	\triangle 1,248,068,444
収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	0
その他の特別収入	34,374,219
特別収入計	34,374,219
事業活動支出の部	
資産処分差額	42,598,269
その他の特別支出	0
特別支出計	42,598,269
特別収支差額	\triangle 8,224,050
金組入前當年度収支差額	\triangle 1,256,292,494
金組入額合計	\triangle 845,069,393
當年度収支差額	\triangle 2,101,361,887
年度繰越収支差額	2,212,560,230
金取崩額	0
年度繰越収支差額	111,198,343

活動收入計 6,453,439,062

卷動頁面計

未沾動収支計算書

活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動（教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動）に対する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本基金に組み入れるか控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにします。

全国大会壮行式の開催

この度、陸上競技部とソフトテニス部の学生が、全国大会へ出場することとなり、全国大会での健闘を祈念し、5月30日(金)12:20から、プラザ(8号館食堂北側広場)で壮行式が開催され、富士学長より激励のお言葉をいただきました。

【出場大会名】

陸上競技部:天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権
ソフトテニス部:第45回全日本大学ソフトテニス王座決定戦



令和6年度(2025年3月卒業生)の就職結果

14年連続
99%以上!

就職内定率

99.6%

令和6年度における本学の就職率は99.6%となり、14年連続で99%以上の確かな就職実績を達成することができました。また、広島労働局が公表した県内大学生の就職率は96.5%であり、文部科学省が公表した全国の大学の就職率98.0%も大きく上回り、これも本学の教職員が一丸となり、常に親身に、またきめ細かく学生の就職支援に取り組んできた結果であると受け止めております。就職状況は、広島県への就職が約57%、続いて中国(広島県を除く)約12%、関東約9%、近畿約8%等と、各地方の順となっています。

本学も前述のように「教職協働による全学的取り組み」を就職支援の基本にしながら、クラス担任教員、各学科の就職委員に加え、就職課が、組織的にそれぞれの立場から支援を行っています。さらに、キャリアカウンセラーや就職支援ナビゲーター(ハローワーク)による個別指導等の協力を得るなど、しっかりとした学生へのサポート体制を組んでいます。

具体的な取り組みとしては、主に3年生を対象とした「就職講座」(年間15回)を開催しており、また、合同企業説明会や、求人開拓のための企業訪問、インターンシップの準備・実施から発表までの一連のプログラム、さらに、低学年向けの就職準備講座、就活出陣式等です。

OPEN CAMPUS 2025

本学では、高校生・保護者を対象に、福山平成大学の学びや魅力を体験できるオープンキャンパスを開催しています。キャンパスへ足を運び、福山平成大学を肌で感じてもらえるよう来場型で開催し、事前申込制で対応しております。学科での学びの紹介、入学者選抜制度説明を行います。高校生に興味を持っていただける内容での模擬講義・実習体験、施設・設備の見学、キャンパスライフの紹介など、本学のことを知ってもらえるプログラムを企画しております。安心して楽しい1日を過ごしてもらえるように、学生スタッフと教職員が万全の準備をして実施しております。2025年度は第1回を6/21に開催いたしました。



第2回以降は下記の日程で開催いたします。

7月20日(日)・8月23日(土)
9月 6日(土)・2026年3月14日(土)



御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、縦帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育くむ。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学 発行日 2025年7月18日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <https://www.heisei-u.ac.jp/>